

Press Release

平成 28 年 1 月 27 日
日本公認会計士協会

会長通牒「公認会計士監査の信頼回復に向けた監査業務への取組」 の発出について

日本公認会計士協会では、監査業務の適正な運用の観点から、昨今の度重なる会計不祥事に係る監査業務審査会の審査内容を踏まえ、各会員の監査業務改善のために、緊急に会長通牒「公認会計士監査の信頼回復に向けた監査業務への取組」を発出します。

本通牒は、各会員へ、本年 3 月決算の監査の時期を迎えるに当たり、監査人が特に留意する点を明示し、真摯に監査業務に取り組むことを強く要請しており、本日臨時に開催した理事会で決議しました。

今後、日本公認会計士協会は、その周知・徹底に当たり全ての会員及び準会員に対して本通牒を送付すること、翌週に開催する緊急全国研修会など様々な研修を実施すること、上場会社の監査を実施している監査事務所に対して本通牒で触れている事項の監査実施状況について特別レビューで確認すること、必要に応じて実務上の指針の見直しを検討すること等の諸施策を進めて参ります。

以 上